



・労災の防止
・快適な職場
・心身の健康

センターだより

愛知県勤労者安全衛生研究センター
〒456-0002
名古屋熱田区金山町1丁目14-18
ワークライフプラザれあろ3F
TEL(052)684-0003
FAX(052)684-0303
連合愛知ホームページからも閲覧できます
<http://www.rengo-aichi.or.jp>

年頭挨拶
設立30周年を迎えて

安全衛生センター
理事長 近藤 之



新年を迎え、謹んでお慶び申し上げます。

構成組織・加盟組合の皆様におかれましては、安全衛生センターの諸活動に対し、平素よりご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

愛知県の労働災害による死亡者数は、2016年に統計開始以来最少の31人でしたが、再び増加に転じ、昨年は41人（速報値）となりました。41人の方それぞれに夢や未来があり、愛する家族や友人がいたことを思うと、われわれ労働組合は、死亡災害や重篤な災害の撲滅に向けて不断の努力を惜しまず、“働く仲間の命と健康を守る”という重い使命をしっかりと果たしていかなければならないと強く感じます。

安全衛生センターは本年3月に設立30周年を迎えるにあたり、“労働安全衛生ハンドブック”と“クリア

ファイル”を作成し、構成組織を通じて加盟組合に配布させていただきました。

ハンドブックには、労働災害の状況をはじめメンタルヘルス対策、治療と仕事の両立支援、健康経営など、労働安全衛生に係る取り組みを網羅

的に掲載し、参考になるサイトをQRコードで紹介していますので、今後の取り組みに積極的にご活用ください。

また、裏表紙には“労災ゼロをめざす宣言”を掲載しましたので、改めて労災ゼロ実現に向けた機運を高めるきっかけとしていただければと思います。

今年は子年。新しいサイクルの始まりで、成長に向かって種子が膨らみ始める時期とも言われます。安全衛生センターも、30周年を契機にセンター機能をより充実させ、加盟組織全体の取り組みの強化へつなげていきたいと考えております。これまで以上にご協力いただきますようお願いいたします。



愛知県では、12月19日にインフルエンザ警報が発令されました。インフルエンザは例年、1月から3月にかけて最も流行します。

十分な休養と栄養摂取で体調を管理するとともに、職場においては、加湿器などで適度な湿度を保ち、手洗いを励行するよう徹底しましょう。

また、職場での蔓延を防ぐため、咳やのどの痛み、鼻水といった症状のほか、突然の38度以上の発熱や頭痛、関節痛、筋肉痛などの全身症状が現れたら、出勤を控え、医療機関を受診するようにしましょう。

愛知労働局主催 リスクアセスメント推進大会2019あいち

愛知労働局は12月9日、「危なさに向きあおう」をキャッチフレーズとした“リスクアセスメントの推進・定着”を図るため、日本特殊陶業市民会館で「リスクアセスメント推進大会」を開催しました。

労働災害を防止するためには、職場において常に危なさと共に共存していることを意識する必要があります。愛知労働局は、作業に関わる危なさを整理し、管理下に置くことが重要であると提唱し、危なさを整理する手法であるリスクアセスメントの推進と定着を図る取り組みを集中的に進めています。

※「危なさに向きあおう」の詳細は愛知労働局HP
論理的な安全衛生管理の推進で検索



○ リスクアセスメントを知ろう①

○ リスクアセスメントとは？

○ ※今号からシリーズで、労災防止に向けて愛知労働局が推進を図っている“リスクアセスメント”について解説していきます。

○ ※解説は裏面



全国産業安全衛生大会 IN 京都 (2019.10.25 ~ 26) 緑十字展に参加して



安全衛生センター
理事 小椋 和夫 < J P 労組 >

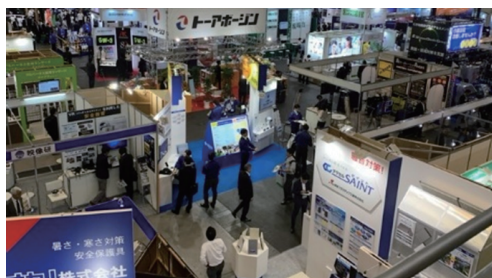
私の所属する組織では、物流作業が大きなウエイトを占めています。長時間にわたる配達作業における暑さ対策については、健康保持の観点からも喫緊の課題となっています。特に、二輪車での配達業務にあたる組合員からは、送風ファンの機能が付いた被服の配備のほか、外野活動が単独行動となることから、健康状態の監視や休憩などの指示を行うための、遠隔管理システムの導入を求める要望意見が多く出されています。

今回の大会は、安全対策等に対する課題に視点を置き、ミドリ十字展にも参加させていただき、出展する企業の担当者に安全対策について質問する機会をいただきました。

結果的には、私たちの職場が全国組織で規模が大きく、外務作業従事者数が20万人以上に及ぶことや、店舗拠点も1万箇所を超えることなどから、実現可能性は厳しいものがありました。しかし、近年の異常気象に伴う酷暑の中で外務活動を行う社員の安全や健康を考えると、何らかの安全対策もしくは、管理システムの構築による事前の安全管理などの実現が求められていることになりました。

我が社においては、AIやIoTを活用したビジネス戦略や他業種とのアライアンスを目的とした「テレマティクス」の実証実験がすでに実施されています。現段階では、物理的な対策が現実的でないにしても、AIやIoTを安全対策に活用する研究が進むことで、早期の安全対策の実現が可能であると考えます。

今大会への参加を契機とし、組織内における労使の場においても、抽象的な議論ではなく、効果的効率的な安全対策の構築に向けた真剣な議論が必要であること、労働組合として組合員の命を守るため、その責任を果たすことが求められていると痛感しました。



耳より情報

～がんサポートセミナーから～

今回は、12月11日にウインクあいちで開催された「がんサポートセミナー」(名古屋市主催)の内容から、がん治療と仕事の両立支援について、耳より情報を紹介します。



がんになっても仕事は続けられる

生涯でがん罹患する確率は2人に1人、そのうち3人に1人は就労可能年齢で罹患しています。がんの罹患率は高齢になればなるほど高まるため、将来的に70歳定年時代が到来すれば、2人に1人が働いているうちにがんになるとも言われています。

しかし、医療の進歩によって、がんの生存率はすべてのがんにおいて延びており、がんになっても治療を続けながら仕事を続けられるようになってきています。

就業上の配慮の問題

治療と仕事の両立には多くの場合、就業上の配慮が必要です。全く配慮がなければ、退職を余儀なくされる場合もありますし、逆に必要以上に優遇しすぎると、周囲との不公平感につながります。

産業医がいれば、患者と主治医、職場との調整を行ってもらえますが、産業医のいない50人未満の小規模事業場ではどうしたらよいのでしょうか。そんな時、頼りになるのが愛知産業保健総合支援センターです。

労働者や事業者からの申し出により、両立支援促進員が医療機関と連携し、それぞれのステップに応じた助言・支援を無料で行ってくれます。

愛知産業保健総合支援センター ☎052-950-5375

※「愛知産業センター」で検索

がん治療と仕事の両立で悩んだときの相談窓口

◆がんの電話相談 ☎052-684-8686 <相談無料>

火曜・木曜・月2回土曜

10:00 ~ 11:30、13:00 ~ 15:30

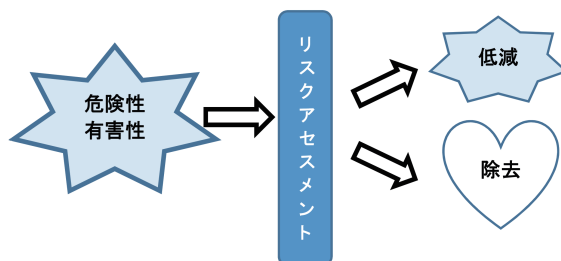
◆名古屋市がん相談情報サロン ピアネット

☎052-243-0555 <相談無料>

火曜～土曜 10:00 ~ 16:00 (祝・年末年始除く)

リスクアセスメントを知ろう① 解説 リスクアセスメントとは？

厚生労働省は、「リスクアセスメントは、職場の潜在的な危険性または有害性を見つけ出し、これを除去、低減するための手法である」と定義しています。



重要なポイントは、リスクアセスメントは事後に対策する手法ではなく、「事前」に危険性を見つけ出し、危険を未然に除去・防止する手法であるということです。

次回からは、リスクアセスメントの概念や進め方について、これまでの労災防止活動の問題点にも触れながら、解説していきます。